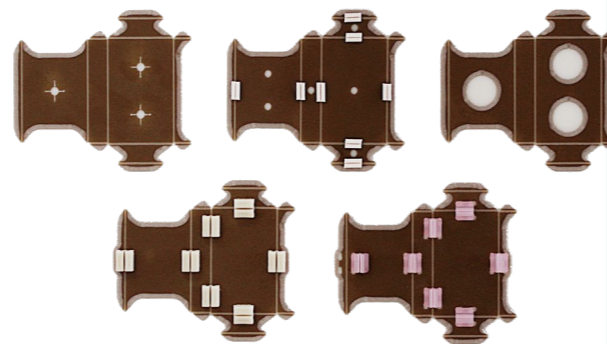
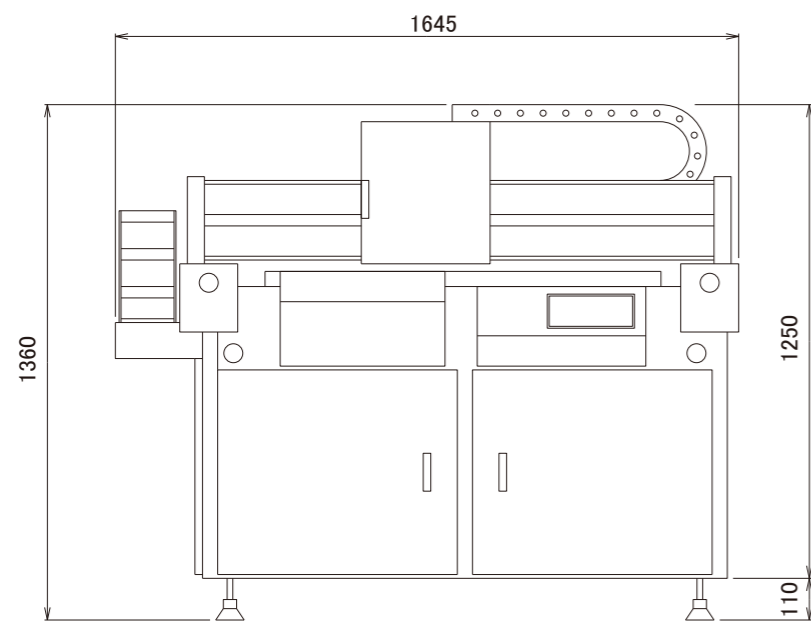


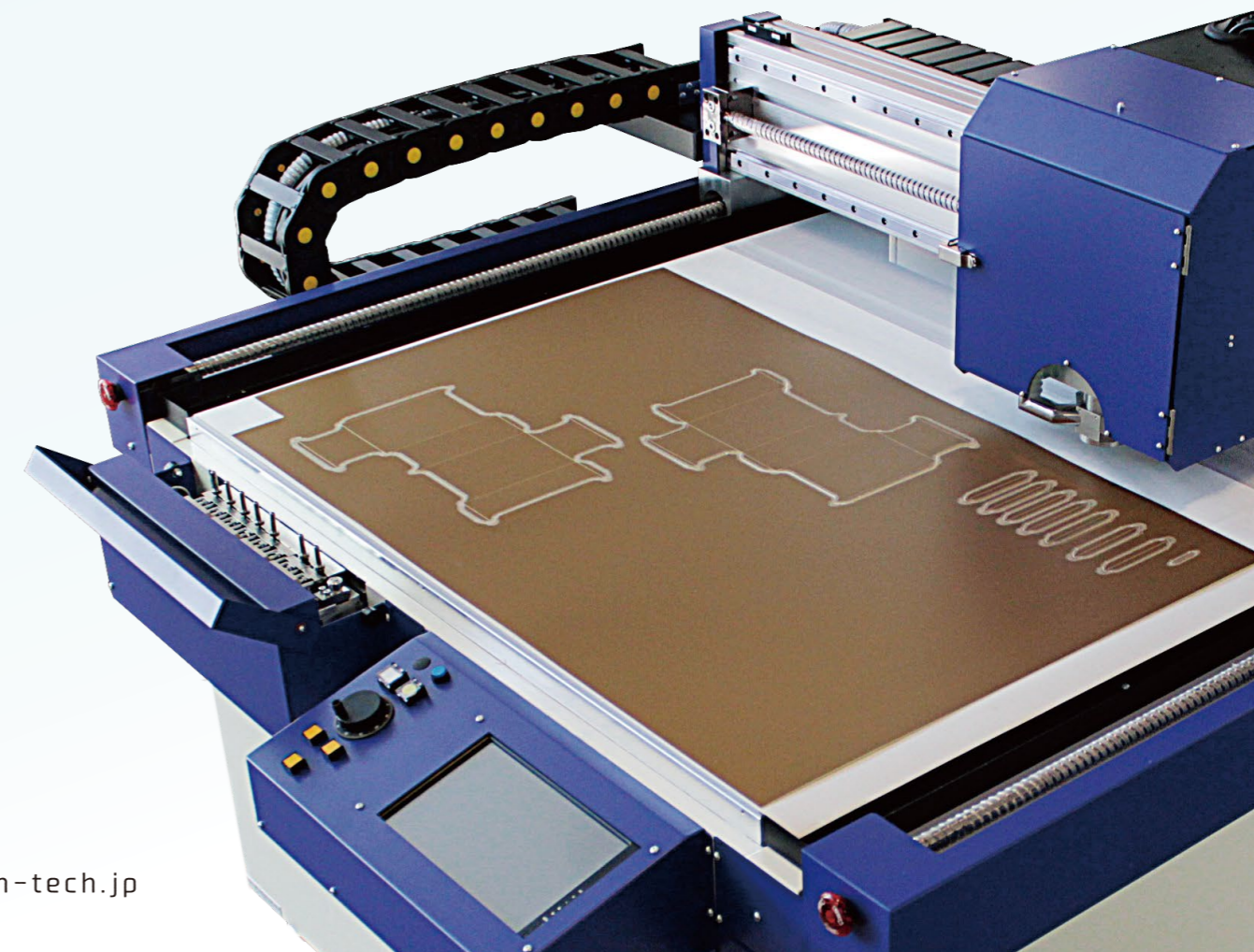
型番	OT-Counter Z
駆動方法	ACサーボモーター・ヘリカルラックピニオン
ミーリングサイズ	ご相談下さい (特注可能)
反復精度	± 0.01 mm
最大積載重量	10 kg
対応フォーマット	DXF / HPGL / NC code(G Code) files
使用電源	三相 AC200V・4.18 kW
使用環境	温度20℃±10℃ 湿度50%~70% (結露しない事)
機械本体サイズ	H1360 × W1645 × D1990 mm
全体重量	650 kg



## Counter Z シリーズ

# フルオートタイプ 面板加工機

Crease Line 8atc Auto Counter Cutting Machine



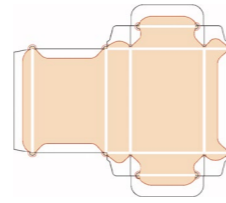
[www.ocean-tech.jp](http://www.ocean-tech.jp)



## Counter Z シリーズ

# フルオートタイプ 面板加工機

Crease Line 8atc Auto Counter Cutting Machine



ボードの厚みを自動計測し、加工深度を自動調整しながら  
面板を正確且つスピーディーに作製するフルオート面板加工機

オートツールチェンジャーにより  
ツールのピックアップを自動化し、完全自動化を実現

予めPC側で指定した罫線幅にあったツールを8本の中から自動でピックアップ  
ルーター刃の高さ設定も自動で行い、均一な溝形成を実現します  
(溝切りルーター刃：5本、テーパー刃：2本、外周カット刃：1本)

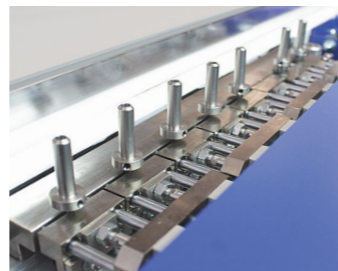
駆動部にはヘリカルラックギアを採用し、騒音や制振性を向上

駆動部には、ギアの噛み合い率が大きく、騒音や振動対策に効果があるヘリカルラックギアを採用。本製品に採用しているラックギアは、特殊なネジレ角を採用し、ピニオン1回転の移動量が整数mmとなるように設計。0.1mmの精度を求められるCAD面板作りに高精度でお応えします。又、ミーリングヘッド部には、削りカスを吸引するバキュームを搭載しておりますので、削りカスの吸引除去も自動で行います。

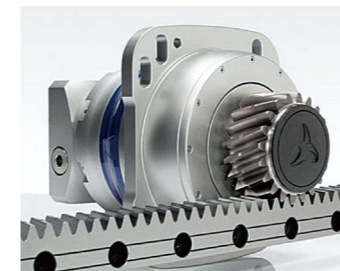
カメラによる抜型精度検査機能も搭載（オプション）

面板の溝と、木型の罫線刃、円弧部をカメラで測定し、図面データとの精度誤差を検証する、検査機能を搭載。

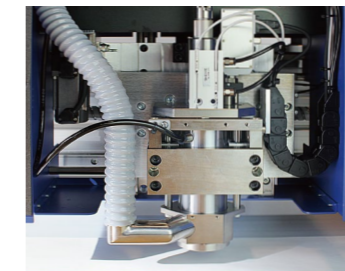
ツールチェンジャー部



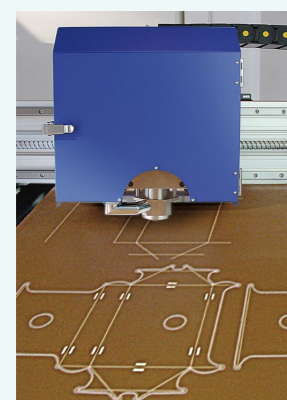
ヘリカルラックギア



バキューム部



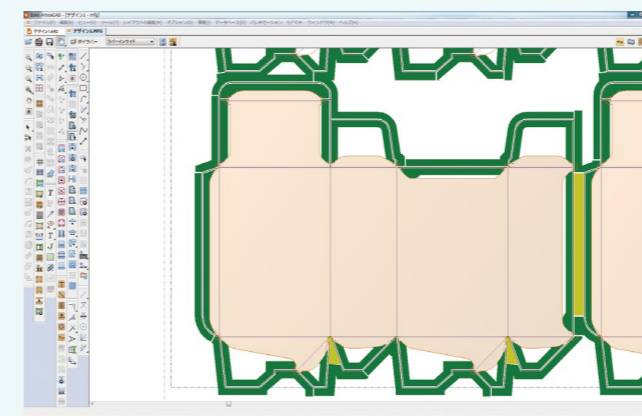
タッチパネルで簡単操作



## CAD 面板機導入のメリット

折れ罫線がある資材の抜きには、雌型は必須資材となります

紙器業界では溝切りテープもしくはCAD面板を使用することが一般的ですが、費用面を考慮して未だその大半は溝切りテープを採用しています。しかし一見安いようにも思えるテープですが、保管場所からのピックアップ、定尺カット、四隅のテーパーかけ、ボンドによる接着面の硬化作業など、CAD面板と比較すると、圧倒的に時間的コストが掛かっているのが実情です。その結果として、段取り替えてトムソン機を長時間に渡って止めてしまうため、稼働率を低くしてしまっています。CAD面板は、抜型データを元にCADデータを生成するため、その製作過程は非常に簡易です。刷本を流している間に完成した雌型が仕上がるため、トムソン機の稼働率を高めることが出来る点が導入ポイントになります。



## ArtiosCAD の面板作成機能

ゴムと干渉しない面板作成を短時間で実現

ArtiosCADの面板作成機能を使用することで短時間で効率的に面板加工用データを作成することができます。  
また、面板データだけではなく、ゴムデータも連動させることで機械セット時に面板とゴムが干渉しない加工用データを自動的に作成することも可能です。